

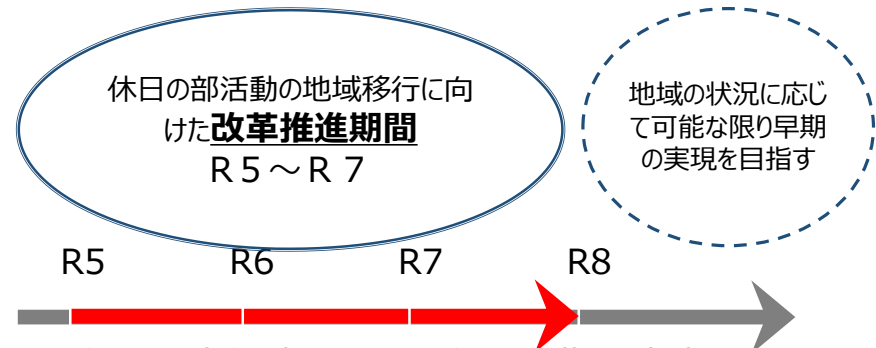
4 拠点でのモデル事業

- 桜宮SC(都島区)+3拠点(東淀川区、西区、東住吉区)で、受け皿団体の民間事業者への委託
3年間で拠点を拡充し、本市のリーディングケースとして、受け皿団体の設立から経営基盤の確立へ

部活動のグループ化の全市拡大

- 部活動指導員の配置枠を390→530枠へ拡大
3年間で更に充実させ、現下の教員の負担軽減と教員以外の指導人材の確保を進める

- 部活動指導のグループ化による、複数校単位×部活動指導員 による「拠点校ネット」モデルを、中体連の動きに併せ早期に全市展開
合同部活動チームによる学校間連携を促進し、従来の学校単位の部活動からの意識の変革を図る



≪参考≫ 大阪市中体連では、合同部活動チーム(個人種目含む)に対して大会参加を認める方向で検討中。

関係区・局との連携強化

塾代助成事業を活用した学校施設を民間事業者に開放する取組みではこれまでの学習塾主体だけでなく、部活動に代わるような内容も。

≪区独自の取組み事例≫

- 東成区 …連携協定によりNTTドコモ レッドハリケーンズが区内2中学校ラグビー部員に指導
民間事業者を活用した課外授業による ダンス、英会話、囲碁将棋など (塾代助成の対象)
- 生野区 …学校体育施設開放事業による 民間事業者主催のダンス教室 (塾代助成の対象)